

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント	
		取組目標	取組結果			
図書館運営に関する項目						
1 図書館施設・機能の充実						
1	公共施設を利用した図書館機能の充実	他の公共施設との連携等により、図書館から一定の距離がある地域へのサービス提供、来館が困難な人へのサービス提供を充実させ、市内在住者の図書館貸出利用登録割合を40%以上にします。	ブックポストの設置か所の検討結果を踏まえ、具体的な設置に向けた取り組みを実施します。	三鷹駅前付近のブックポスト設置に向けて駅及び駅前に立地する①三鷹駅構内②中央市政センター敷地内③かたらいの道市民スペース④芸能劇場について検討を始めました。また、具体的な配送ルートについて内部検討を行いました。	A	
			都内公立図書館のサービス実施状況と利用者アンケートの結果を踏まえ、宅配サービスの実施について検討し、報告書を作成します。	他市区の状況の調査を行い、また、多摩地区図書館障害者サービス研究会で実施した宅配サービスに関する調査などを参考として検討しましたが、報告までには至りませんでした。また、高齢者施設への団体貸出利用のアンケート調査を行い、団体貸出実施へ向けて検討を行いました。	B	高齢化社会が進む現在、高齢者施設だけでなく高齢者家庭への宅配サービスの実現も望まれる。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 既存施設の整備・改修	すべての利用者が使いやすい安全な施設を提供するため、各館の提供するサービスに応じた施設の整備・改修を進めます。 (数値目標:書庫の集密化等により、中央図書館の蔵書可能数を平成26年度までに70万冊とする)	施設の老朽化に対応した工事を実施します。 中央図書館 空調用蓄熱槽工事・粉末消火設備保全工事 吉祥寺図書館 エレベータ地震時リスタート機能設置工事	施設の老朽化に対応し、修繕工事を実施しました。(中央:目標に掲げた工事のほか11件、吉祥寺3件)	A	
		書庫集密化工事の実施および継続した予算の獲得を目指します。	中央図書館書庫固定式書棚から電動スライド式書棚への改修工事(平成25年度から27年度の3カ年計画)についての平成25年分の予算要求が承認され改修しました。	A	
3 図書館業務システムの再構築	自動貸出・返却機等の導入・活用により業務の効率化を図り、限られた人的資源を読書の案内や課題解決の支援に向けます。 (数値目標:貸出・返却において、2分以上待たせないこと)	自動返却機については、蓄積したデータの解析から、改善点を検討し、有効かどうか順次検証します。点検とあわせ月1回ペースで実施し、安定運用をはかります。予約棚については、ハード的な工夫での性能の向上、安定化の限界に近づいているので、運用その他、他の方法がないかを探ります。どちらも、検証結果と点検について、報告書を作成します。	自動返却機については、一部ファームウェアの更改等を行い、戻り率については半減することができました。残りの不具合については、定期点検とログ解析を続けて、改善を続けています。予約棚については、書架ひとつひとつ読み取り状況を実測し、ハードの微調整と、置き方の工夫で、わずかでありますが、読み取り率の向上させることができました。共に、点検、作業の記録と結果は、随時報告書を作成しました。	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ 網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
3 図書館業務システムの再構築	自動貸出・返却機等の導入・活用により業務の効率化を図り、限られた人的資源を読書の案内や課題解決の支援に向けます。 (数値目標:貸出・返却において、2分以上待たせないこと)	現行システムの安定的な運用を図るとともに、プレイス開館に伴う予約数、搬送資料数の大幅な増加や休館日、開館時間が異なることによる曜日ごとの業務量の増減等を考慮し、人的資源の再配置を検討し、試行します。	新しいシステムの導入により、貸出業務など一定の業務量の軽減がされましたが、プレイスの開館により増大した資料の搬送に伴う業務量が想定以上に大きく、フロアワークに人的資源を充てることが難しくなっています。	B	プレイスの資料搬送業務の工夫により、フロアワークに対して適正な人的資源をあてることが望まれる。
		現システムの後継機、他システム、新技術の視察、研究を行い、機種選定の参考となる資料を収集します。その結果、注目すべき機能や新技術について検討した報告書を作成します。	他メーカーの研究会(3回)や図書館関係の大会(1回)、他館の視察(3館)を行い、報告書を作成しました。その中で、新機能について、特記しました。		

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ 網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント	
		取組目標	取組結果			
2 安心して利用できる図書館環境の構築						
1	利用者の安全性を高める施設の充実	利用者が快適で安心して図書館を利用できる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→安心感 ある75%以上)	市民アンケートの結果等を踏まえ、予算措置等を講じ、平成26年度に新たな体制の実現を目指します。	中央、吉祥寺の図書館巡回警備を時間を延ばし、警備の強化を図りました。また、土日祝日における駐輪場整理員を配置し、利用者の利便性を向上しました。	A	
2	個人情報とプライバシーの保護	利用者の個人情報及びプライバシーを保護します。	個人情報とプライバシー保護に関する研修を職員に対して継続的に実施します。(全職員に対する定期研修:年1回、新規配属職員:随時)	個人情報とプライバシー保護に関する研修を全職員に実施しました。(中央:5月1日、吉祥寺:平成26年1月4日、新人随時)	A	個人情報保護について、今後も引き続き研修を実施されたい。
3	危機管理体制の構築	図書館の危機管理体制を定期的に見直しながら、より強固なものへ構築していきます。 (数値目標:毎年1回の見直しの実施)	職員に対する危機管理研修、実際のリスク発生を想定した訓練を継続的に年1回実施します。	各館において、防災訓練を実施しました。 中央:11月…地震発災対応の避難訓練 参加者44名 吉祥寺:3月…館内設備の確認、避難経路等を中心に確認 参加者14名 プレイス:10月…全館で防災訓練を実施 参加者39名	A	
			安全対策マニュアルに基づき、職員訓練を年1回以上実施します。	平成25年3月に改定された武蔵野市防災計画を受けて図書館の安全対策マニュアルを作成しました。平成26年2月に警察官による防犯講話、実演防犯研修を行いました。	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について> **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館運営に関する項目					
3 質の高いサービスを支える体制整備					
1 職員の人材育成	質の高いサービスを提供する基盤として、図書館運営を担う人材育成を図ります。 (数値目標:毎年一人3回以上の研修参加)	<p>「武蔵野市立図書館人材育成計画」に基づき、内部研修(職員向け6回、嘱託職員向け4回)を実施し、職員を外部研修に派遣します。</p> <p><参考指標:24年度実績> ○内部研修:中央14、吉4、プ10回 ○研修参加職員数(延べ人数):762人 研修参加回数: 職員(32人) 3~25回 嘱託(68人) 1~14回 ※緊急雇用嘱託職員2人含む 一人当たり平均参加回数: 職員 9.71回 嘱託 7.23回</p>	<p>内部研修については、新任研修、レファレンス研修等を実施し、外部研修については児童、障害者サービス等の専門業務研修やレファレンス研修等へ職員を派遣しました。</p> <p><参考指標:25年度実績> ○内部研修:中央16、吉5、プ12回 ○研修参加職員数(延べ人数):749人 研修参加回数: 職員(34人) 2~26回 嘱託(64人) 1~14回 一人当たり平均参加回数: 職員 10.7回 嘱託 7.7回</p>	A	
		<p>「研修個人シート」を作成、活用し、各職員の研修参加状況の把握と意識の向上に努めます。職員の内部研修評価で、A評価80%以上を目指します。</p> <p><参考指標:24年度実> ○職員の内部研修評価(回答数1,030) A評価 831(80.7%) B評価 175(17.0%) C評価 24(2.3%)</p>	<p>研修個人シートを作成し、各職員の研修参加状況等の把握に努めました。また各職員による研修評価及び研修に対する意見について、25年度の内部研修科目へ反映させるとともに、希望する外部研修への職員派遣の参考としました。</p> <p><参考指標:25年度実績> ○職員の内部研修評価(回答数782) A評価 700(89.5%) B評価 77(9.8%) C評価 5(0.7%)</p>	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について> **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策		平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
			取組目標	取組結果		
2	施設の管理・運営形態	図書館として最も望ましい管理・運営形態を目指し、利用者への利便性をさらに向上させます。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利便性への評価 良い75%以上)	平成24年度の報告および市民アンケートの結果を踏まえ、具体的な実施方針を作成します。	図書館内部での検討を進め、報告書を作成しました。	B	具体的な実施方針の作成を期待する。
3	評価システムの構築	図書館が提供するサービスについて、見直しと向上を図る評価システムを構築、運用し、評価を実施していきます。 (数値目標:年1回評価システムによる評価及び市民への公表実施)	図書館職員すべてが評価目標に基づいて業務を行い、年度終了後には、目標の到達度を自ら評価することとし、図書館評価を実施します。	図書館内で行っている事業進捗評価について各職員が担当業務に沿って進捗管理を行い、25年度から図書館職員全員で評価を実施しました。	A	内部評価の実施が評価される。内部評価をこの取組結果の欄に反映することが望まれる。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について> **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館サービスに関する項目					
4 地域の情報拠点としての情報の蓄積					
1 多様な情報資料の蓄積	市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。 (数値目標: 毎年1回以上の資料収集方針の点検)	一般図書、逐次刊行物、視聴覚資料、郷土行政資料等の継続的な収集と整備を進めます。〔継続事業〕 <参考指標: 24年度実績> ○受入資料数 中央: 図書 21,422冊、CD 258点、DVD 293点 吉祥寺: 図書 8,148冊、CD 103点 プレイス: 図書 9,817冊 ○資料の貸出回転率(1年間貸出回数/蔵書点数) 図書: 2.61 AV: 7.77	図書、視聴覚資料等計画的に購入、買替を進めました。 <参考指標: 25年度実績> ○受入資料数 中央: 図書 18,365冊、CD 320点、DVD 287点 吉祥寺: 図書 8,177冊、CD 112点 プレイス: 図書 11,024冊 ○資料の貸出回転率(1年間貸出回数/蔵書点数) 図書: 2.46 AV: 7.06	A	貸出回転率を上げることが望まれる。
		インターネットデータベースの種類を、利用者ニーズの把握や利用者アンケートおよび他市調査等を基に増やし、積極的な広報や、利用者講座の実施などを通し、利用の促進を図ります。 講座実施: 年2回以上 対象: 利用者全般 <参考指標: 24年度実績> ○利用者講座 0回 ○契約オンラインデータベース 9種類 ○インターネットパソコン利用人数 20,393人(全館) ○ナクス利用実績 2,012人(全館)	データベースの利用状況を検証して、中央、吉祥寺、プレイスに新規データベース「人物レファレンス事典plus」を導入しました。 新規データベースについては、HP、図書館だより等で広報を行いました。利用者講座については2回実施しました。 <参考指標: 25年度実績> ○利用者講座 2回 ○契約オンラインデータベース 10種類 ○インターネットパソコン利用人数 19,365人(全館) ○ナクス利用実績 2,038人(全館)	A	利用者講座を増やすことにより、利用促進を図られたい。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策		平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
			取組目標	取組結果		
1	多様な情報資料の蓄積	市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。 (数値目標: 毎年1回以上の資料収集方針の点検)	平成24年度実施の利用者アンケートの結果を参考に図書館における電子書籍の導入についての研究と情報収集を引き続き行います。 結果は、報告書にまとめます。	フォーラム等に参加し(3回)、また、電子書籍サービス導入館の視察を行い(3館)、現状や運用方法等、報告書にまとめました。	A	
			図書館におけるリサイクル事業を、継続して行います。 ＜参考指標: 24年度実績＞ ○児童書リサイクル数 2,074冊(3館合計) ○リサイクルコーナー 20,261冊(3館合計)	各図書館のブックリサイクルコーナーでリサイクル資料を提供しました。 ＜参考指標: 25年度実績＞ ○児童書リサイクル数 2,725冊(3館合計) ○リサイクルコーナー 21,708冊(3館合計)		
2	市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクル	市民の蔵書や図書館の除籍資料等について、有効活用を図ります。 (数値目標: 前年比100%以上のリサイクル資料の提供)	図書交流センター事業を平成25年度をもって終了し、既存資料の有効活用を含め方針を決定します。	旧桜堤小に設置している事務所を中央図書館へ移転し、寄贈の相談窓口機能を除く事業を縮小しました。交流センター事業終了後の方針を決定しました。	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント	
		取組目標	取組結果			
図書館サービスに関する項目						
5 市民や関係機関と連携したサービスの充実						
1	市民との協働	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を市民ボランティアや市民団体との連携により、幅広い利用者に提供していきます。 (数値目標:協働連携団体または事例を3点)	市民ボランティアとの協働の可能性を引き続き研究し、特に宅配サービスについてボランティアとの協働の可能性について模索し、中間報告を作成します。	宅配サービスについては、他市区の調査等を参考に検討をしましたが、ボランティアとの協働についての検討までには至りませんでした。	B	中間報告の作成を期待する。
2	他の図書館施設、行政部局との連携・協力	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を他の図書館等関係機関との連携により、幅広い利用者に提供していくとともに、図書館の情報を行政部局や市議会で活用できるよう体制整備を進めます。	中央図書館で「課題解決支援テーマ展示」を年10回以上実施し、庁内、関係機関に協力を求め、有効な情報、資料を収集します。 協力課:5課 :クリーンセンター、交流事業課、生活経済課、児童青少年課、高齢者支援課 ※市役所組織11部49課 協力関係機関:4団体、機関 :クリーンむさしのを推進する会、東京しごとセンター多摩、朝日新聞社、東京都健康安全研究センター	課題解決テーマ展示を11回実施し、展示に際しては、図書館資料だけでなく、庁内、関係機関から関連資料を取り寄せて、展示、配付を行い、幅広い情報提供に努めました。 協力課等:8課ほか :市民活動推進課、緑のまち推進課、企画調整課、生涯学習スポーツ課、高齢者支援課、生活経済課、ごみ総合対策課、子ども家庭課 武蔵野市消費生活センター、教育支援センター、子ども家庭支援センター、ボランティアセンター武蔵野、武蔵野市観光推進機構、公益財団法人武蔵野健康づくり事業団、協力関係機関:6団体 :東京都消費生活センター、東京都地球温暖化防止活動推進センター、東京都動物愛護相談センター、国際交流協会、東京都雇用推進課、住宅産業協議会	A	課題解決テーマ展示については、過去のテーマや展示図書・関連資料を公開するなど、図書館HPをもっと活用されたい。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 他の図書館施設、行政部局との連携・協力	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を他の図書館等関係機関との連携により、幅広い利用者に提供していくとともに、図書館の情報を行政部局や市議会で活用できるように体制整備を進めます。	課題解決テーマ展示資料リストの関係各課への送付、各課主催事業に関連した図書の展示等の取り組みにより、各課が、図書館資料や提供情報等を業務に活用できるように努めます。 ＜参考指標：24年度実績＞ ○中央課題解決テーマ展示協力課：5課 協力関係機関：4団体、機関 ○プレイス プレイス講座関連図書展示 18回 青少年フロア図書展示 1回 協同企画講座 1回	協力課、関係機関にテーマ展示資料リストを送付しました。武蔵野プレイスでは、同館生涯学習機能、市民活動支援機能、青少年支援機能の主催講座に関連した図書の展示を実施したほか、青少年支援機能と協力して、青少年フロアでの図書展示や講座を開催しました。 ＜参考指標：25年度実績＞ ○中央課題解決テーマ展示協力課等：8課ほか 協力関係機関：6団体 ○プレイス プレイス講座関連図書展示 19回	A	
3 その他の機関との連携協力	市内の民間事業者や文化施設との連携を進め、地域振興の推進や地域文化の創造・発展を図ります。（数値目標：連携・創造の取り組みを年3回以上実施）	各事業者、団体等の活動について情報収集に努め、資料展示に反映させます。	ミニトピックスの展示として、これまでも実施してきた吉祥寺美術館に加えて、高齢者支援課、障害者福祉課、市民活動推進課と共同で資料展示を行いました。中央7回吉祥寺1回	A	より多くの利用者に伝わるよう告知を工夫されたい。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
4 学校との連携協力	学校図書館の支援機能を強化しながら、図書資料を活用した学習を広く支援するとともに、そのための体制づくりに取り組めます。	学校連携用図書の選書会議を年1回開催し、学校連携用の資料の貸出テーマ別リストを更新します。	8月に選書会議を開催し、現場の教員の意見今年度の選書の参考としました。また、学校連携用の資料の貸出テーマ別リストを更新しました。	A	現場教員の声を取り上げているのが評価できる。
		学校図書館システムとの連携について、具体的な取り組みについて調査研究の結果をまとめます。	市内の小・中学校の図書室の見学を実施し、学校図書室の現状とシステムについて把握に努めました。	B	調査研究の結果についてまとめることを期待する。
		学校や学校図書館に職員が向き、ブックトークや読み聞かせの講座等を学校の要望を取り入れながら実施していきます。	市内の中学校の家庭科の研究授業で、子どもと読み聞かせについての話をしました。また、学校図書室サポーターの会議に出席し、学校連携事業の案内や、おすすめ本の紹介などを行いました。	A	図書室サポーター図書担当教員との会に参加され、積極的にお勧めの本を紹介しているのが評価できる。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について> 網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント	
		取組目標	取組結果			
図書館サービスに関する項目						
6 図書館の活用と情報収集の支援						
1	貸出・閲覧サービスの利便性の向上	自動貸出機や自動返却機の導入、配本サービスの充実、ブックポストの設置など利用者の利便性の向上を図ります。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利便性への評価 良い75%以上)	自動貸出機・返却機・館内OPACなどについて利用者アンケートの結果を参考に、利用者の利便性のさらなる向上を図ります。また、次期図書館システム導入に向けた他市区図書館等の情報収集を行い、報告書にまとめます。	自動返却機については、一部ファームウェアの更改等を行い、戻り率については半減することができました。残りの不具合については、定期点検とログ解析を続けて、改善を続けています。(作業時ごとに報告書を作成。)他メーカーの研究会(3回)や図書館関係の大会(1回)、他館の視察(3館)を行い、報告書を作成しました。その中で、新機能について、特記しました。	A	
2	本に親しめる環境の整備	利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利用者が楽しめる環境 良い75%以上)	24年度から実施している「みどりのこども館」でのおはなし会について検証し、実績を報告するとともに、内容をより充実したものにするための検討を行い、報告をまとめます。	毎月のおはなし会と絵本等の貸出を実施しました。また、みどりのこども館の職員との打合せで、今後の方向性について検討を行い、報告しました。	A	
			一般向けトピックス展示を、中央で年5回(期間1~3ヶ月)、プレイスで年6回(期間1~2ヶ月)実施します。 <参考指標:24年度実績> ○一般向け実施回数及び展示冊数 中央(4回 656冊、ミニトピックス 3回 131冊) プレイス(7回 1800冊) ○プレイス機能連携 生涯学習講座関連 10回426冊 青少年活動関連 6回118冊 市民活動支援講座関連 2回57冊	一般向けのほか、生涯学習講座に関する展示も行いました。 <参考指標:25年度実績> ○一般向け実施回数及び展示冊数 中央(4回 618冊、ミニトピックス 7回 335冊) 吉祥寺(ミニトピックス1回 50冊) プレイス(6回 1570冊) ○プレイス機能連携 生涯学習講座関連 7回352冊 青少年活動関連 8回165冊 市民活動支援講座関連 4回81冊	A	各館の特徴が出ていることが評価できる。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 本に親しめる環境の整備	利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利用者が楽しめる環境良い75%以上)	児童向けテーマ展示を各館年3回以上実施します。 ＜参考指標:24年度実績＞中央7回、吉祥寺6回、プレイス6回	児童向けテーマ展示 ＜参考指標:25年度実績＞中央8回、吉祥寺7回、プレイス7回	A	
		児童・ヤングアダルト資料を継続的に収集・整備します。	児童・ヤングアダルト資料を継続的に収集・整備しました。また、長く読み継がれている絵本などの買替を重点的に実施しました。	A	
		24年度に各館(中央・プレイス)で実施したYA向きの展示企画を発展させ、3館で取り組む企画展示を実施します。	YA向き資料展示 【中央】3回 【プレイス】3回 YA向きイベント 【プレイス】3種類 10回	B	YAに関しては、各館の特徴を伸ばす形で環境を整え、学校等に向けての告知を強化されたい。
3 市民活動支援機能の充実	様々な活動を行っている市民団体等と連携しながら、活動に有益な情報の提供や、活動記録の蓄積を進めます。	図書館関係団体や地域の文庫活動に対して、支援を行っていきます。 [継続事業]	図書館関係団体や地域の文庫活動に対して、支援を行いました。 [継続事業]	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント	
		取組目標	取組結果			
図書館サービスに関する項目						
7 市民の学びと課題解決の支援						
1	レファレンス・サービスの充実	利用者が必要とする情報・資料を容易に探索できるよう、本の案内やレファレンスサービスを充実していきます。 (数値目標:利用者アンケートを実施→レファレンスサービスへの評価 良い75%以上)	レファレンス力向上のため、レファレンス研修を継続実施します。 (目標値:職員年3回、嘱託年1回) ＜参考指標:24年度実績＞ ○内部研修:中央7回、吉祥寺2回、プレイス5回 3館合計参加人数 323人 外部研修:5回 3館合計参加人数 52人 ○レファレンス件数 54,535件(3館合計)	レファレンス研修を実施し、外部研修に職員を派遣しました。25年度は、中央で、外部講師(データベース会社)によるインターネットを使ったレファレンス研修を2回実施しました。1人あたりの平均参加回数は、職員5回。嘱託員2.9回となりました。 ＜参考指標:25年度実績＞ ○内部研修:中央7回、吉祥寺3回、プレイス6回 3館合計参加人数 329人 外部研修:6回 3館合計参加人数 19人 ○レファレンス件数 58,154件(3館合計)	A	
			レファレンス事例のシステム入力を進め、全館で共有します。 ＜参考指標:24年度実績＞ ○件数 235件	レファレンス事例のシステム入力を行い、全館で共有しました。 ＜参考指標:25年度実績＞ ○件数 132件	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
1 レファレンス・サービスの充実	利用者が必要とする情報・資料を容易に探索できるよう、本の案内やレファレンスサービスを充実していきます。 (数値目標:利用者アンケートを実施→レファレンスサービスへの評価 良い75%以上)	各館で実施した研修資料は他館に送付し、レファレンス問題は、全館で検索可能なレファレンス事例システムに入力します。また、中央で実施した研修に分館から代表が参加した後、自館で報告研修を行ったり、同じレファレンス課題に全館職員が取り組む等情報の共有化を図り、レファレンス対応力の向上に努めます。 レファレンス研修:中央7回、分館2回以上実施。分館職員の90%以上が、中央実施研修に年1回以上参加(レファレンス研修課題学習を含む) <参考指標:24年度実績> ○内部研修:中央7回、吉祥寺2回、プレイス5回	各館で実施した研修資料は他館に送付し、レファレンス問題は、全館で検索可能なレファレンス事例システムに入力しました。中央で実施した研修に分館から代表が参加した後、自館で報告研修を行ったり、同じレファレンス課題に全館職員が取り組む等情報の共有化を図りました。 <参考指標:25年度実績> 内部レファレンス研修:中央7回、吉祥寺3回、プレイス6回	A	
2 学びを支える情報の収集、提供、発信	利用者の多様な学びを支援するため、利用者が必要とする情報の収集、提供、発信を積極的に行います。 (数値目標:調べ案内(パスファインダー)の発行数 年3回以上)	武蔵野市に関する新聞記事見出しデータベースの更新に努め、25年度中に1998年1月～12月分及び2013年9月分までを公開します。 <参考指標:平成24年度実績> ○新聞記事データ件数 8,347件	実施しました。平成26年2月までに新たに1,090件の記事見出しを追加しました。 <参考指標:平成25年度実績> ○新聞記事データ件数 9,437件	A	レファレンス自体の認知度を上げる取り組みも必要である。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 学びを支える情報の収集、提供、発信	利用者の多様な学びを支援するため、利用者が必要とする情報の収集、提供、発信を積極的に行います。 (数値目標：調べ案内(パスファインダー)の発行数 年3回以上)	契約データベース等による幅広い情報提供を行います。データベースの内容や利用状況、ニーズを確認し、一部データベースを新規データベースに変更する等の見直しを行います。 ＜参考指標：24年度実績＞ ○契約オンラインデータベース 9種類 ○インターネットパソコン利用人数 20,393人(全館) ○ナクス利用実績 2,012人(全館)	データベースの利用状況を検証して、中央、吉祥寺、プレイスに、新規データベース「人物レファレンス事典plus」を導入しました。 ＜参考指標：25年度実績＞ ○契約オンラインデータベース 10種類 ○インターネットパソコン利用人数 19,365人(全館) ○ナクス利用実績 2,038人(全館)	A	
		パスファインダー「おしえてむさしの一武蔵野市に関する調べ案内」を作成、Web公開し、紙媒体でも発行します。 目標：年3回発行 ＜参考指標：24年度実績＞ 第1～3号発行 (※HP公開は平成25年5月)	第4号のみ紙媒体で作成済。第5、6号は作成できませんでした。	C	軽い切り口のテーマを扱うことも検討されたい。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 学びを支える情報の収集、提供、発信	利用者の多様な学びを支援するため、利用者が必要とする情報の収集、提供、発信を積極的に行います。 (数値目標：調べ方案内(パスファインダー)の発行数 年3回以上)	パスファインダーの公開に伴い、HP「武蔵野市に関するレファレンス事例集」の更新を順次行います。公開中の46事例については、順次、再調査を行い、新規資料が判明した場合は追加します。新規事例を3例以上作成します。	作成できませんでした。	C	新規事例の作成を期待する。
3 課題解決の支援	利用者の抱える課題に応じた情報を収集し提供するほか、これらの情報を効率的に利用できるよう、図書館資料の検索性を向上させます。また、利用者を対象としたデータベース検索講座等を実施し、利用者の情報リテラシー能力向上を図ります。 (数値目標：①課題解決テーマ展示 年10回以上実施 ②利用者対象情報検索講座年2回以上実施)	昨年度より引き続き、中央図書館で「課題解決支援テーマ展示」を年10回以上実施し、ブックリストをHPでも公開します。	課題解決テーマ展示を11回実施しました。“父親の子育て”、“節約”など月ごとにテーマを替え、552冊の図書を展示し、ブックリストをHPで公開しました。	A	
		利用者を対象としたデータベース検索講座等を2回以上実施します。	プレイスで2回実施しました。	B	回数だけでなく、より多くの人に参加いただくためのPRも工夫されたい。

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について> **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
図書館サービスに関する項目					
8 利用対象者別の図書館サービスの充実					
1 一般利用者向けサービスの充実	資料・情報の必要な方が、必要ときに手にすることができるよう資料の充実やレファレンスサービスの充実を図るとともに、身近な公共施設での貸出・返却サービスや図書館開館時間の延長なども検討していきます。	「課題解決支援テーマ展示」の実施に伴い、庁内、関係機関に協力を求め、有効な情報、資料を収集します。	展示に際しては、図書館資料だけでなく、庁内、関係機関から関連資料を取り寄せて、展示、配付を行い、幅広い情報提供に努めました。	A	
		【再掲】 レファレンス力向上のため、レファレンス研修を継続実施します。 (目標値:職員年3回、嘱託年1回) <参考指標:24年度実績> ○内部研修:中央7回、吉祥寺2回、プレイス5回 3館合計参加人数 323人 外部研修:5回 3館合計参加人数 52人 ○レファレンス件数 54,535件(3館合計)	【再掲】 レファレンス研修を実施し、外部研修に職員を派遣しました。25年度は、外部講師(データベース会社)によるインターネットを使ったレファレンス研修を、中央、プレイスで各2回実施しました。 <参考指標:25年度実績> ○内部研修:中央7回、吉祥寺3回、プレイス6回 3館合計参加人数 329人 外部研修:6回 3館合計参加人数 19人 ○レファレンス件数 58,154件(3館合計)	A	
		【再掲】 レファレンス事例のシステム入力を進め、全館で共有します。 <参考指標:24年度実績> ○件数 235件	【再掲】 レファレンス事例のシステム入力を行い、全館で共有しました。 <参考指標:25年度実績> ○件数 132件	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ 網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
1 一般利用者向けサービスの充実	資料・情報の必要な方が、必要なときに手にすることができるよう資料の充実やレファレンス・サービスの充実を図るとともに、身近な公共施設での貸出・返却サービスや図書館開館時間の延長なども検討していきます	【再掲】 各館で実施した研修資料は他館に送付し、レファレンス問題は、全館で検索可能なレファレンス事例システムに入力します。また、中央で実施した研修に分館から代表が参加した後、自館で報告研修を行ったり、同じレファレンス課題に全館職員が取り組む等情報の共有化を図り、レファレンス対応力の向上に努めます。レファレンス研修：中央7回、分館2回以上実施。分館職員の90%以上が、中央実施研修に年1回以上参加(レファレンス研修課題学習を含む)	【再掲】 各館で実施した研修資料は他館に送付し、レファレンス問題は、全館で検索可能なレファレンス事例システムに入力しました。中央で実施した研修に分館から代表が参加した後、自館で報告研修を行ったり、同じレファレンス課題に全館職員が取り組む等情報の共有化を図りました。 ＜参考指標：25年度実績＞ レファレンス研修：中央7回、吉祥寺3回、プレイス6回	A	
		自動貸出機・返却機・館内OPACなどについて利用者アンケートを実施し、利用者の声を反映し、利便性の向上を図ります。アンケート結果と、対応について、報告書を作成します。	アンケートは実施しませんでした。	C	利用者の声を反映するために、利用者アンケートの実施は重要である。
2 児童サービスの充実	子どもの読書習慣を定着させる事業やサービスの拡充を図ります。 (数値目標：小中学生の1か月の平均読書数を、平成22年度比10%増)	ブックスタート事業の継続実施及び乳幼児向けのおはなし会や幼児小学生向けおはなし会、保護者向けの講演会、こどもまつり、読書の動機づけ指導、子ども文芸賞等の子どもの読書習慣の定着を図る事業を実施します。	ブックスタート事業の継続実施及び乳幼児向けのおはなし会や幼児小学生向けおはなし会、保護者向けの講演会、こどもまつり、読書の動機づけ指導、子ども文芸賞等の子どもの読書習慣の定着を図る事業を実施しました。	A	子どもの読書習慣の定着のため、今後も継続することが大切である。
		【再掲】 24年度から実施している「みどりのこども館」でのおはなし会について検証し、実績を報告するとともに、内容をより充実したものにするための検討を行い報告をまとめます。	【再掲】 毎月のおはなし会と絵本等の貸出を実施しました。また、みどりのこども館の職員との打合せで、今後の方向性について検討を行い、報告しました。	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
3 ヤングアダルト向けサービスの充実	中学生・高校生を対象とした学習スペースの提供、図書館資料を活用した多様な活動の支援や情報発信の場の提供などを実施します。 (数値目標: 青少年利用者の図書館満足度 良い75%以上)	【再掲】 24年度に各館(中央・プレイス)で実施したYA向きの展示企画を発展させ、3館で取り組む企画展示を実施します。	【再掲】 YA向き資料展示 【中央】3回 【プレイス】3回 YA向きイベント 【プレイス】3種類 10回	B	【再掲】 YAに関しては、各館の特徴を伸ばす形で環境を整え、学校等に向けての告知を強化されたい。
		武蔵野プレイスの青少年活動支援機能との連携を継続して図ります。近隣中学・高校の図書委員会との交流や青少年のフロアでのポップ作成などの活動を行います。	武蔵野プレイスにおいて、以下のYA向きイベントを実施した 「夏休み図書館司書体験」 「図書館体験ツアー」 「出張POP作り教室」	A	
4 シニア利用者に対するサービス	シニア世代を対象とした趣味や健康に関する情報提供や図書館資料を活用した学びの支援、また市民ボランティアとして図書館運営に参画してもらいます。 (数値目標: シニア利用者の図書館満足度 良い75%以上)	プレイス生涯学習機能で実施しているいきいきセミナー、老壮シニア講座等に、資料提供、図書館利用案内等を行い、シニア世代の生涯学習を支援します。また、引き続き、障害者サービスのためのボランティアの養成に努めます。 ＜参考指標: 24年度実績＞ 朗読・点訳・講座回数 11回 参加延人数 438名	プレイス生涯学習機能で実施しているいきいきセミナー、老壮シニア講座等に、資料提供、図書館利用案内等を行い、シニア世代の生涯学習を支援します。また、引き続き、障害者サービスのためのボランティアの養成に努めました。 ＜参考指標: 25年度実績＞ 朗読・点訳・講座回数 13回 参加延人数 232名	A	高齢化社会に向けて、益々充実していくことが望まれる。
		シニア世代が利用しやすい大活字本の充実を図ります。 ＜参考指標: 24年度実績＞ 蔵書数: 2,502冊 ※年度末 購入数: 84冊	シニア世代が利用しやすい大活字本の充実を図ります。 ＜参考指標: 25年度実績＞ 蔵書数: 2,712冊※年度末 購入数: 223冊	A	

平成25年度 武蔵野市の図書館評価

＜評価について＞ **網掛けの取組目標は、重点評価の対象とする目標**

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成25年度		図書館運営委員会評価	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
5 来館、利用困難者に対する利便性向上	障害がある、日本語を母国語としない等により来館が困難、利用が困難な方に対するサービス体制を強化、拡充します。 (数値目標:障害者用資料の利用率 平成22年度比 120%)	視覚障害による活字図書の利用困難者に対し、音訳図書の貸出や対面朗読サービス等を引き続き実施します。[継続事業]	視覚障害による活字図書の利用困難者に対し、音訳図書の貸出や対面朗読サービス等を引き続き実施しました。[継続事業]	A	
		【再掲】都内の公立図書館の実施状況と利用者アンケートの結果を踏まえ、宅配サービスの実施について検討を行い報告書を作成します。	【再掲】宅配サービスについては、他市区の調査等を参考に検討をしましたが、ボランティアとの協働についての検討までには至りませんでした。	B	【再掲】高齢化社会が進む現在、高齢者施設だけでなく高齢者家庭への宅配サービスの実現も望まれる。
		導入した電算システムをより有効活用していくためのPRを行い、利用者からも検索や予約等がスムーズに行えるような仕組みを作っていきます。	電算システムの導入により、利用者へ最新の情報をより早く提供できるようになり、貸出数は前年度の倍近くに伸びています。また、事務処理の効率化を図ることができました。	A	貸出数が前年度の倍近く伸びたことは大変評価できる。